

三木の森林だより

森町森林組合第五十四回通常総代会を開催

（原案とおりの可決される）

九月二十九日、森町三倉の三倉総合センターに於いて、第五十四回通常総代会が開催されました。総代・役員を始め、御来賓として、森町長・村松藤雄氏、静岡県中遠農林事務所長・岡村孝氏、静岡県森林組合連合会長代理・大場紘一氏、地元町議会議員の御臨席を得て行われました。

議事に入る前に鈴木組合長は、日頃の組合運営に於いて夫々の立場で、ご指導ご協力頂いている事に対し冒頭お礼申し上げ挨拶致しました。

『昨年は安倍政権の経済対策により企業収益の増大に伴い、設備投資や雇用の拡大により失業率の低下や、個人消費の拡大が見られ消費税増税前の駆け込み需要もあり、住宅着工数も前年度対比十一割増の九十八万戸となり、木材価格も、特にヒノキ材の高騰もあるなど、我々林業界に於いても一時、明るい兆が見られました。』

また、2020年には東京オリンピック・パラリンピックの決定、富士山・三保の松原の世界文化遺産登録など、少し明るい展望が見えて来た様な気が致しました。

また、戦後、全国的に植林された木が伐期を迎えつつありますが、十八割まで落ちた木材自給率を平成三十一年には、五〇割以上とする国の森林・林業再生プロジェクトに基づき、需要と供給を連動して進めることが、我が国の重要な課題であります。

静岡県に於いても木材生産量五十万m³を目標として大手合板

会社（株式会社ノダ）を誘致して需要の拡大と共に供給態勢の確立を促しております。

我々林業に携わる者に取っても、大切に育てた木材を有効に活用すると共に、森林の果たす多面的機能を十分に発揮出来る様、森林整備をする事が義務であり森林組合としての使命であります。

木材価格の上昇が望めない現状の中で、生産コストを下げる事が最大の課題となっております。そのためには、集約化を図り路網の整備と機械化を進める事で、生産性を上げ少しでも多く木材代金として還元することが大事であります。

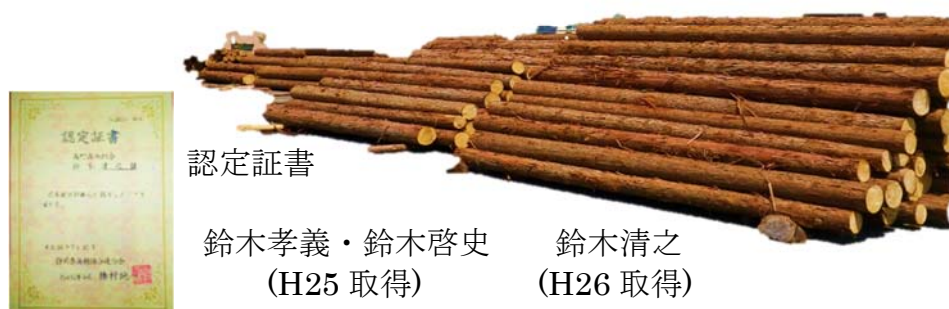
当組合としても地籍調査により境界の明確化を図りつつ、森林経営計画を樹立して、その実現に向け更なる努力をして参ります。国・県で進める林業施策をフルに活用させて頂きながら、本年度も役職員一丸となって頑張っております。

組合員皆さんの更なる、ご理解とご協力をお願いすると共に行政を始め関係機関の変わらぬ、ご指導と御高配をお願い申し上げます。ご挨拶と致します。』

と挨拶申し上げました。続いて議長に大久保地区の花島愛祐氏を選出して議事に入り、上程した第一号議案から第九号議案を審議し、多数の賛成を得て、可決決定され無事総代会を終了しました。

原木選別評価士 ～新たに1名加わる～

製材工場や合板工場等の需要ニーズに応じて、木材を効率的・安定的に供給するため山土場や中間土場で、需要先毎(製材工場・合板工場等)の仕分け・検尺等が出来る人材を、静岡県独自の「原木選別評価士」として、新たに鈴木清之が合格しました。



認定証書

鈴木孝義・鈴木啓史
(H25 取得)鈴木清之
(H26 取得)第21回静岡県伐木造材技術競技会
静岡県木材協同組合連合会長賞受賞

9月18日島田市の民有林に於いて第21回静岡県伐木造材競技会が会員170人の参加を得て開催されました。

当組合の技術職員松永大和が出場し、輝く第6位に入賞しました。



競技風景

審査風景

新たな『若い力』加わる

緑の雇用で3年間、仕事と研修をします。3年間のうちは資格を取ることや、技術の向上に努めたいです。最初は周りを見て勉強していくと思いますが、3年後には自分が後輩にアドバイスや指導をできる人材になりたいです。だからこそ、最初の3年間で大事に積極的に仕事に取り組みたいです。作業は怪我なく行くと同時に、作業効率を落とさないようにするのが目標です。

私の理想は体が動く限りは林業をやっていくことです。



山出 哲聖 (20歳)

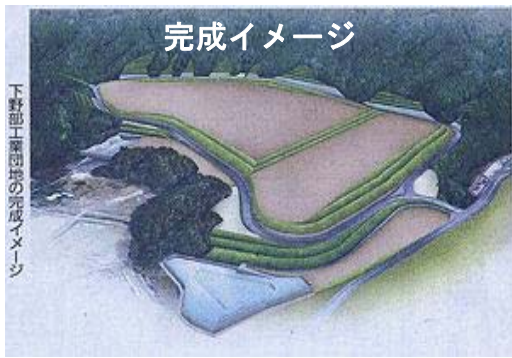
袋井市出身・静岡県立農林大学校卒業





新東名高速道路がすぐ近くを走る磐田市下野部（旧豊岡村）で工業団地造成工事（伐採面積は約二十五畝）の伐採工事を矢作建設工業（名古屋）より受注しました。

現在は調整池が完成するまで伐採作業を一時中断していますが、十二月中旬からは再び伐採作業が始まります。



磐田市・下野部工業団地着手

二年後の完成へ向けて森林組合が伐採工事を受注

造成現場には、大型で見たこともない機械が稼働しています。二年後の完成に向けて森町森林組合も安全作業で頑張っています。

森組からお知らせ

●組合員名簿等名義変更について

所有森林で相続・取得・売却等が生じた際には、組合員名簿及び出資証券の名義変更等が必要となりますので、御連絡下さい。

●職員の組織体制について

10月1日から業務分担を明確にしてスムーズに事業が行われるように職員の組織体制が変わりました。

総括部長兼

総務課長…………鈴木孝義
同経理係長…………加藤美幸
同庶務係…………舘山ももえ
森林整備課長……鈴木清之
森林計画課長……鈴木啓史
同調査計画係長…村山英人
技術職員…………三倉靖啓
技術職員…………松永大和
技術職員…………竹ノ内直人
技術職員…………中田尚利
技術職員…………山出哲聖

●臨時休業について

11月21日(金)に従業員親睦旅行の為、臨時休業とさせていただきます。組合員皆様にはご迷惑をお掛けしますがよろしくお願いします。

購買情報

今から山ではあちらこちらにチェーンソーの音が鳴り響きます。振動病予防のためにも振動軽減手袋を！



¥1,404円(サイズはM・L)



今後、森林経営計画の樹立を進めると共に、生産コスト意識を高め、組合員皆様に喜んで行く山づくりを進めて行く予定です。



～食欲の秋～

～芸術の秋～

～そして、地籍調査の秋～

厳しい夏が終わり気温の低下と共に青々としていた木々が、鮮やかな色へと移り変わり、山々が芸術的な色合いを見せる季節。そう、日本の世界に誇れる季節「秋」になりました。秋の爽やかな気候を感じながら、地籍調査事業を通じて、豊かな山を歩ける事に日々感謝しております。

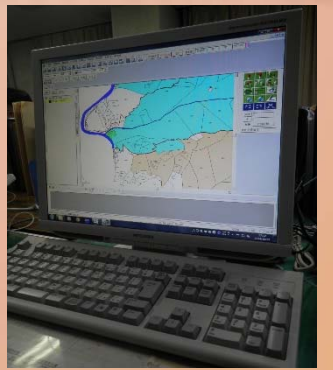
=平成25年度地籍調査事業の完了報告=

皆様のご協力のもと、平成25年度地籍調査事業は無事終了致しました。実績報告として、E工程(立会、杭打)97ha 80筆、FG工程(測量)65ha 56筆、H工程(地籍簿、地籍図の閲覧)65ha 182筆を完了しました。

=平成26年度地籍調査事業の概要=

E工程(立会、杭打)72ha 92筆、見三合、天神沢、ユノサワ外、FG工程(測量)97ha 77筆、H工程(地籍簿、地籍図の閲覧)65ha 56筆を実施しております。今年度も地籍調査事業を実施しておりますので随時、報告して参ります。

また、今年度について地籍調査の対象となった所有者様には案内通知を発送してしますので立会等ご協力をお願いいたします。



事業説明会



立会風景



森林整備が現在進行中

森林整備は山林を健全に育てると共に、森林の多面的機能を活かすために大切な作業

今年度も折り返しに差し掛かり、林業本番の時期に移行し、当組合も皆様の大切な山林について様々な施策を提案し行っています。三倉地区の治山事業を始め、森林環境保全直接支援事業・しずおか林業再生プロジェクト推進事業・森の力再生事業・町単独事業等、間伐面積約百十畝、作業道開設約四千五百メートル、特に、成熟期を迎えた森林が増加する中、木材生産をしながら森林整備を進めて行く利用間伐は重要性を増しています。

静岡県森連天竜営業所市況 平成26年10月8日

すぎ

長さ(m)	末口径(cm)	中 値	1本当たり単価(円)	摘 要
3m	14	6,000	354	柱目 3.5 寸取
	16～18	12,000	1,044	柱目 4 寸取
	20～	13,000	1,716	中目
4m	14	10,000	780	桁目 3.5 寸取
	16～18	13,000	1,508	桁目 4 寸取
	20～22	14,000	2,464	中目
	24～28	16,500	4,455	中目
	30～34	17,000	6,970	二番玉節小
6m	16～18	15,000	2,910	通し柱 4 寸
	20～22	16,000	4,620	通し柱太角

ひのき

長さ(m)	末口径(cm)	中 値	1本当たり単価(円)	摘 要
3m	14	15,000	885	柱目 3.5 寸取
	16～18	19,000	1,653	柱目 4 寸取
	20～	18,000	2,376	太角目
4m	14	16,000	1,248	土台目 3.5 寸取
	16～18	16,500	1,914	土台 4 寸取
	20～22	17,000	2,992	中目縁甲取
	24～28	21,000	5,670	中目
	30～34	21,000	8,610	二番玉節小
6m	16～18	-	-	通し柱 4 寸
	20～22	-	-	通し柱太角

三木の森林だより

～山のことなら何でも森町森林組合に～

発行／森町森林組合

〒437-0208 静岡県周智郡森町三倉 826-2

TEL: 0538-86-0211 FAX: 0538-86-0212

E-Mail: jigyou@forest-morimachi.or.jp